

日本発ウィーン便り～新年雪のウィーン～

この年末年始の日程

- 1 日目：関空→フランクフルト→ニュルンベルク
- 2 日目：飛行機の移動なし(大晦日)
- 3 日目：ニュルンベルク→ウィーン(お正月)
- 4 日目：ウィーン→ニュルンベルク
- 5 日目：ニュルンベルク→フランクフルト
- 6 日目：フランクフルト→関空(7 日目到着)

という本当に毎日飛行機の変な日程でした。もともとウィーンに行く気はまったくなく、ずっとニュルンベルクにいる予定だったのですが、ある日何気なくウィーンの国立歌劇場のホームページをチェックしたら、1月1日の公演、良いお席ではなかったのですが、なんとチケットが「1枚」のこっていました。

これって私のためにあるってこと??とついつい購入。(このパターン、確か以前もありましたね。)それで急遽ウィーン行き決定!これが出発一週間前くらいの話。

急いで飛行機とホテルを手配。1月1日のフライトということで、格安航空会社を探してみるとこれまた「片道1ユーロ!」なるものがありました。(もちろん航空運賃+税金その他の支払は必要なので、運賃1ユーロでも最終50ユーロ位にはなりますが。)これも即予約。

1月1日の朝、まだ暗いうちに起きだして、08:45の飛行機に搭乗。予想どおり機内はガラガラでしたが、NEW YEAR!の機内サービス、グラスシャンパンを片手に、雲の上の初日の出を見つご機嫌でウィーンに向かいました。

ウィーンに向けて、高度を下げると、なんと地上は真白雪景色!10時前には、もうウィーン到着です。ウィーンに雪が降ったら、必ず私が向かうのが...



シェーンブルン宮殿。クリスマスツリーは1月6日ごろまで飾ります。



いつ見てもきれいですが、雪景色は格別ですね！



グロリエッテの雪景色もなんだか幻想的です。

あとは、せっかくウィーンに来たから！ということでおいしいものを食べて、一通り散歩して、オペラ前にちょっと休憩。今日のオペラは、新年恒例のシュトラウスのオペレッタ「こうもり」です。あらすじは、読めば読むほど意味不明なんですが、シュトラウスの有名な曲がめいっぱい詰まった楽しい

オペレッタ。あまり深く考えず見て聴くのが正解！



いつ来ても華やかです。このオペラ座、夏の3か月弱のお休み期間以外はほぼ毎日オペラかバレエが上演されていますが、その公演はほぼ100%満席になるそうなの…。恐るべしですね。今日の公演もラジオで生中継があったんですよ。ほかにもプレミエ（初演）は必ずTVかラジオで生中継があるし…。あらゆる人が楽しめるようになっています。「音楽の都」は名前だけじゃないところがすごいです。



毎年変わる緞帳。今年はこんなデザインでした！

意図せず今年はウィーンで始まってしまいました…。今年も一体どうなることやら？